

就学情報交換会の様子



小学校の部

中学校の部

就学情報交換会

6月15日(土)

当センターでは毎年6月に発達障害のお子さんがいらっしゃる保護者等を対象とした、就学に向けての情報交換会を行っています。

午前は当センター初の試みで【中学校の部】を開催し、午後は例年通り【小学校の部】を開催しました。

【中学校の部】

講師は特別支援学級(固定制)の先生、特別支援学校コーディネーター、先輩保護者です。参加者は10家族(12名)でした。

少人数でアットホームな雰囲気の中で会が進んでいきました。後半の座談会(自由参加)でも話が尽きることなく、講師に色々な質問がありより具体的な内容の情報交換会になりました。

【小学校の部】

講師は教育委員会の方、特別支援学級(固定制と通級制)の先生、通常学級コーディネーター、特別支援学校コーディネーター、先輩保護者です。参加者は56家族(104名)でした。

教育委員会からは就学の流れ等についての話があり、特別支援学級の先生からはどのような授業をしているのか実際に使用している教材を見せていただ

きイメージしやすい具体的な話がありました。また、通常学級コーディネーターの話は通常学級でどのような支援(決まりやルールを分かりやすく掲示する等)が行われているかを知ることができ、特別支援学校コーディネーターの話では八王子特別支援学校がどのような活動(体力作り等)に力をいれているかについて写真をたくさん見させていただき知ることができました。

先輩保護者からの話は、微笑ましいお子さんの様子から就学を迎える親として抱く葛藤等についても教えていただきました(実施後のアンケート集計で、もっとも好評なのは今年度も先輩保護者の話でした)。

平成19年からすべての学校において特別支援教育が推進され7年目になりました。少しずつ社会的に浸透しているところだとは思いますが、まだまだよくわからないところもたくさんあります。しかし、今回の講習会を通して、着実に支援の体制は前に進んでいるのだとも感じました。「ツウキウって?」「就学支援シートって何?」と思った方は教育委員会の就学相談窓口へ早めのご連絡をお勧めします。

(福祉相談科 工藤 忠幸)

活動紹介

発

はったつしょうがいじしえんしつ 達障害児支援室



★「あみーず」について紹介します。

発達グループ「あみーず」は、親子の小集団活動をするグループです。対象のお子さんは、肢体不自由を持つ脳性まひや、染色体異常で集団に入っていない移動が難しい就学前のお子さんを中心です。気管切開や痰の吸引などの医療ケアを必要とするお子さんも参加くださっています。登録人数は15名ですが、体調不良などでお休みの方もいるので10名前後の活動です。

理学療法士1名、保育士1名が中心になって活動を行っています。そのほかに、毎回ボランティアさんが1名お手伝いしてくださっています。

活動内容は、始まりの歌・お名前よびから始まり、マッサージ・お母さん抱っこでの揺れ遊びを歌に合わせて行っています。みんな「バスに乗ってゆられ



てる」や「どてかぼちゃ」の歌は大好きです。その他に設定遊びとして、トランポリン・プレバールン・プール遊びなどの感覚活動を行っています。感覚活動を通して自分の体に気づき運動することの楽しさを経験してほしいと思っています。

年に1～2回、親子分離の活動も行います。お子さんは、トランポリンやおもちゃなどゆったりと時間を過ごします。お母さんは製作活動として、昨年度は簡単な手芸や革細工を行いました。忙しいお母さん方にとっては、子育て以外に何かに集中できる事はとても貴重で、リフレッシュできる楽しい時間になっているようです。

5月の始まったころのお子さんは、場所や集団の雰囲気になれず泣いたり、戸惑ったりしていますが、少しずつ慣れて笑顔も自然に出るようになってきます。

月に1回の活動ですが、お母さん方はとても仲良しで、賑やかで楽しい活動になっています。お子さんのグループ活動を通して、お母さんどうしの交流につながり育児など総合的な相談支援にもつながっているグループです。

(リハビリテーション科長 甲斐 智子)

通

つうしょ 所



★ナイトケアについて紹介します。

通所科では、7月27日(土)にナイトケアを実施しました。普段は午前中から活動していますが、この日は午後2時から8時近くまでの活動時間です。

みなさんが通所されまず行った活動は“縁日”です。バルーンアート・金魚すくい・射的・綿あめ・おみくじと各屋台をスタンプラリーをしながら楽しみました。利用者の皆様は綿あめの味を楽しんだりおみくじで大吉が出て喜んでいたり、または大凶が出てがっかりされていたり…。そして活動の最後には利用者様が育て収穫したスイカでスイカ割りを行いました。見事に割れたスイカはとても甘くおいしくいただきました。

縁日を行うに当たってスタッフはバルーンアートの技術を習得したり、大きな割りばし鉄砲を作ったり、綿あめ作りを密かに練習していたり…。それぞれに特技が増え、今後の活動に活かしていけるのではないのでしょうか。

あたりが暗くなりだしたころナイトケアのメイン「八王子花火大会」が始まります！屋上からの眺めは最高に良かったのですが、開始から15分ほどでゲリラ豪雨に襲われ室内に避難!!その後は室内から窓を開け音と少し見える花火を見学し、雨が降っても大丈夫なように用意しておいたブラックライトのお手製花火を見て過ごしました。活動のおみくじで大凶を引いてしまった人の“お言葉”を見てみると『大変！雨が降ってきてびしょぬれになっちゃうかも!?!』と…。だれが予言したか。それは…島田の母です。

見事に花火の時間に雨が降り占いが当たり、はたまた最近雨〇という噂のスタッフが雨プログラムを考えていたことがいけなかったのでしょうか？



夜8時近くまでの通所時間で普段と違う雰囲気を楽しんでいただけたと思います。来年こそは、雨の心配なく花火見物ができたらいいなと願いを込めて…。

(通所科 瀧嶋 智恵子)

台町4丁目納涼夏祭り

7月20日(土)に台町4丁目町内会の納涼夏祭りがありました。今年も島はちから職員有志が参加し、午前中は会場設営、夕方からは綿菓子とポップコーンの夜店を出店しました。島はちが開設されて以来3年間、毎年職員が参加しています。午前中は町内会の方から「若いものの力を借りて助かった」ということと言って頂きました。お祭りの時間になると会場は町内の皆様で賑わっていて、とりわけ子どもさんが多く、専用の機械で綿菓子やポップコーンができあがるのを見て、ある子は不思議そうに、ある子は嬉しそうにしている姿が印象的でした。行列が出来た時間帯もあり、綿菓子とポップコーンを合わせて計346個売ることができました。1年目は232個、2年目は273個で年を追うごとに売上は伸びています。プログラムには八王子高校のプラスバンドの演奏もあり、上手な演奏を聴きながら他の夜店の方からの差し入れをたくさん頂くという贅沢な時間もありました。普段はセンター内の業務に追われていて考えることがありませんでしたが、このような行事に参加してみて、住民の皆様が生活している地域の中にセンターがあるということに気づかされました。今後も地域住民の皆様と、互いに顔が見える関係を大切にしたいと思えます。また来年も楽しみにしています。



(リハビリテーション科理学療法士 角田 雅博)

職員向け勉強会

6月28日(金)に、八王子市内の少年野球チームの監督をなさっている恩田宣男さんを招いてお話ししていただきました。恩田さんは小・中・高・大学と野球を続け、大学卒業後、静岡県で体育教師をしながら野球部の監督になります。荒れた生徒が多い野球部で、甲子園を目指して3年後に県のベスト8までの成績を残します。その後、家業を継ぐこととなり八王子市に戻り、息子さんが少年野球を始めたことがきっかけで、八王子市内にある少年野球チーム「アストロジャガーズ」の監督になります。八王子市選手権では、昨年、一昨年と2連覇しています。恩田さんは心構えの5ヶ条を作り、野球を通じて子供たちに伝えています。「1つ、感謝の心：感謝の気持ちを込めて大きな声で挨拶する。2つ、気力の心：どんなピンチでも逃げず諦めない強気な心。3つ、失敗の心：失敗は成功のもとと失敗から学ぶ心。4つ、信頼の心：一人はみんなのために皆は一人の為に。5つ、プロセスの心：何も咲かない冬の時は下へ下へと根をおろせ。」と。卒業後も多くの子供たちが訪ねてくれていることがとても嬉しいそうです。恩田監督の下で子供たちは生き生きと楽しく野球をやっています。熱意と覚悟を持って少年野球に取り組んでいる恩田さんの話には職員は引き込まれて傾聴していました。



(管理科 海野 宣之)

職場紹介

医療検査室 ～臨床検査～ って どんなところ?

第6回

臨床検査室は月、水、金曜は2名の技師、火、木曜は1名の体制で業務を行っています。

業務内容としては、大きく分けると生理機能検査、検体検査の2つに分類できます。

当センターでは生理機能検査が主で脳波、エコー、心電図、ABRなどの誘発電位測定、気道聴力検査等、直接体から情報を得て結果を提出し診療の一助を担っています。

脳波やABRでは眠ってから検査を行うことが多いのですが、お子さんがなかなか眠れずドライブ、バギーでお散歩と親御さんもなかなか苦労されることがあります。

検体検査は血液検査(赤血球で貧血の検査、白血球で感染の有無、CRPで炎症の有無、等)尿検査の他に、数分で結果が得られる病原体(ウイルスや細菌)に対する迅速検査としてインフルエンザ、溶連菌、アデノウイルス、RSウイルス、ロタウイルス、マイコプラズマ検査等があります。

今年は溶連菌感染症が流行し検査数も大変多く、当院でも多くの陽性結果が出ました。

また11月頃からはインフルエンザが流行し始めるので、咽頭ぬぐい液による迅速検査も増えてきています。このように季節により検査内容にも変化があります。

検査は採血をされたり、綿棒で喉、鼻をこすられたりと痛みを伴う事があり、また眠くもないのに薬で眠らされたりと楽しい部屋ではないので敬遠されがちです。

私たちは患者様に少しでも嫌われることなくをモットーに、日々笑顔で正確に且つ迅速な検査を目指しています。

検査室前を通過する際には是非笑顔を見に立ち寄ってみてください。

(医療検査室 臨床検査技師 三浦 鈴子, 佐藤 美智子)



書籍紹介



当センター児童精神科医師の井上祐紀医師が翻訳を手がけました「教師と親のための 子どもの問題行動を解決する3ステップ」が日本評論社より発売されました。

子どもの問題行動に対応するためのCPS（Collaborative Problem Solving：問題解決コラボレーション）について分かりやすく解説されている本です。

お子様の対応に困られている保護者の方、教員の方必見の一冊です！！

(リハビリテーション科心理士 神田 聡)



¥2100 (税込)

ほっとひといき

みなさん「夏」といったら何をイメージしますか？夏といえばジリジリ照り付ける太陽と蝉の声、朝顔の花、スイカ、夕立の後のアスファルトの匂い…。先日、息子と帰宅する途中に空を見上げると遠くに大きな入道雲がありました。私は「入道雲だ！夏だね～」と話しかけると、息子は「あっ、ラピュタの雲だ！」と。なるほど、確かに似ている。と思いつつ、彼の夏のイメージの中に「入道雲」はなかったのかあと気づきました。



私は子供のころに田んぼから見る入道雲と蚊取り線香の匂い、100円を握りしめて買いに行ったアイスの味など、田舎で過ごした心地よい夏が思い出として残っています。どれも見たものや匂い、味、音などいろいろな感覚が不思議と記憶されているものです。そして心がとても穏やかな気分になるのです。

息子の記憶には「夏」のどんな思い出がイメージとして残るのか、そして残してあげられるのか、親としていろいろ考えさせられるものがありますが、楽しく心地よい思い出をたくさん残して、また、自分でも感じ取ってもらいたいなあと思います。

皆さんも夏をイメージしてみてください。ふっと心が穏やかになりませんか？

(リハビリテーション科作業療法士 塩澤 悦子)

お知らせ

information

『第2回 就学情報交換会』

平成25年 10/10 (木) 10:00~12:00

- ◆ 場所…当センター
- ◆ 対象…発達障害のお子さんを持つ保護者
- ◆ 参加費…一家族500円。
- ◆ 当センターホームページに申し込み用紙があります。
- ◆ 問合せ…042-634-9559

島田療育センターはちおうじ 小児診療



こどもクリニック

♡ えみんぐ ♡

インフルエンザの接種を10/23~1/10まで行います。

接種日は毎週水曜日 14:00~15:00

毎週金曜日 14:00~17:00

* 予約は9/24から承ります。

予約制となりますので、詳しくはお電話か受付でお問い合わせください。

■ 診療内容

こどもがかかりやすい病気（発熱や嘔吐・下痢など）の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●		
13:45~14:45	予	予	予	乳予	予		
15:00~17:00	●	●	●	○	●		

予…予防接種 乳…乳児健診

○木曜午後のみ15:30~17:00の診療となります

*土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

